

特集1
しおさい21
2006年度 活動報告

日ごろは、特定非営利活動法人海辺を考えるしおさい21の活動について、ご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。当法人における2007年度の活動は、海岸侵食問題についての調査研究、民間事業者との性能調査・生態系調査共同研究、一般の方々や行政との公開実験や検討会などの啓蒙活動などを行いました。

海岸侵食問題についての調査研究は、「沿岸域の居住者及び事業者の視点による海岸の健全度と安全性に関する調査」として日本財団（財団法人 日本船舶振興会）の募集テーマの海洋に関する研究及び情報の整備、事業形態の調査研究技術開発部門において助成事業として採択されました。この事業は、海の健全度の指標化に向けた取り組みとともに、海岸侵食対策の中で、住民、事業者、観光客が思う理想的な海岸や、海岸に求めるもの、海岸に対する意識などを把握するために地元自治会や清水漁協、行政に協力して頂き、清水区折戸、駒越、三保地区等にてアンケート調査を実施するものです。これにより、侵食で失われた海岸を復元または保全をするための目標や、健全な海岸とはどのようなものであるかなど、いろいろな立場での海岸への思いや考え方をもとに、方向性を決めていくための重要な調査です。この事業は当法人が提唱する海の健全度の評価の指標構築に向けた大きな一歩でした。昨年度の調査結果について

では、今夏にホームページからご覧いただけます。また、その報告者または、概要版をご希望の方は事務局までメールにてお問い合わせください。なお、この事業につきましては、本年度も日本財団から継続事業として採択をいただいております。昨年度の調査結果を踏まえ、海岸侵食および海岸環境の保全に向けた提言をまとめあげて参ります。

次に民間事業者との性能調査・生態系調査共同研究につきましては、大手ネットメーカーで当NPOの法人賛助会員である株式会社ナカダ産業の袋型根固めユニットについて、性能調査実験と実設置されている現場における生態系調査および現況影響調査（フィールド調査）を実施しました。フィールド調査では、一般的な海洋構造物製品に比べ、そこに生息するイセエビなどの水産有用種が多く住み着いていることなどが確認できました。この共同研究については現在最終的な取りまとめをおこなっています。

啓蒙活動については、随時様々な活動を展開していますが、7月30日に開催した「海岸の作用にまつわる公開実験」では、多くの方々にご参加頂きました。今回は、お子様向けに出張水族館、親子貝殻クラフト教室（協力・海辺工房ひとで）も同時開催し、皆様から好評をいただきました。

特集2
しおさい21
今後の活動計画について

当NPOは、海岸環境保全はもとより地球環境保全にも積極的に取り組んで参ります。2007年度は、海岸侵食をテーマに事業活動である海岸侵食についての研究と、海岸環境と切り離すことのない河川や森林との関係、循環型社会、環境配慮に関するエネルギーの研究等により、より良い環境技術の実践に挑戦してまいります。

海岸整備方針

住民「環境」を重視 観光客は「安全」求める

清水区のNPO アンケート調査
侵食問題など切迫の環境安全に取組む清水区のNPO法人しおさい21理事長 田中博通
清水区大津町に設置されたアンケート調査用看板。看板には「環境を重視する」と「安全を重視する」という2つのメッセージが記されている。アンケートの結果、住民は「環境」を重視する意向が強いことが分かった。



↑
2007/5/19
静岡新聞

←
親子貝殻
クラフト教室
の様子



hirate 株式会社ヒラテ技研

BUSINESS VEGA 静岡SBSグループ エスピーエスメディアサービス株式会社

日本財団 The Nippon Foundation

Imagine of Seashore SHIOSAI 21

COLLABORATION SUPPORTERS

東海大学 海洋学部

ネットコミュニケーションカンパニー
ナカダ産業株式会社

DECOR 芙蓉海洋開発株式会社